

研究タイトル：

ラテン語における格表示組織の通時的研究



氏名：	二本柳 譲治 / NIHONYANAGI Joji	E-mail：	yanagi-j@ichinoseki.ac.jp
職名：	准教授	学位：	文学修士
所属学会・協会：	日本言語学会, 日本歴史言語学会, 日本ロマンス語学会		
キーワード：	ラテン語, 格表示組織, 前置詞, 動詞前綴, 複合動詞		
技術相談 提供可能技術：	.		

研究内容： ラテン語における格表示組織の通時的研究

1. ラテン語における複合動詞の統辞機能に関する研究

ラテン語において複合動詞が形成される際に、その構成素である動詞前綴と単純動詞の項構造が受けた変更を分析することにより、動詞前綴の遡及形であると考えられる副詞的接語の統辞機能を再建する。

2. ラテン語における前置詞の発達過程に関する研究

印欧祖語において元来空間関係のみを表示していたと考えられる自律的な副詞要素である接語が名詞類と連関することで前置詞へと発達する過程を詳細に分析することにより、その際要因として作用したと考えられる統辞論レベルでの言語構造の推移を考察する。

3. ラテン・ロマンス語史における格組織の崩壊過程に関する研究

初期印欧語に特徴的な、豊かな形態論に支えられた格組織が、ロマンス諸語の発達において崩壊し消失する過程を通時的にとらえることにより、そこで関与したと考えられる諸要因を分析し、言語構造一般における「タイプ」の交代現象を言語類型論的観点から考察する。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	

Diachronic study on the case marking system in Latin



Name	NIHONYANAGI Joji	E-mail	yanagi-j@ichinoseki.ac.jp
Status	Associate Professor		
Affiliations	The Linguistic Society of Japan, Japan Society for Historical Linguistics, Societas Japonica Studiorum Romanicorum		
Keywords	Latin, case marking system, preposition, preverb, compound verb		
Technical Support Skills	.		

Research Contents

Diachronic study on the case marking system in Latin

- The syntactic function of Latin compound verbs**
 Analyzing the argument structures of preverbs and verbal simplex in Latin, reconstruction will be attempted on the syntactic function of adverbial particles from which the preverbs derived.
- The historical change of Latin prepositions**
- The collapse of the case system in Latin**

Available Facilities and Equipment
